

おもな議案と意見書案、請願 ●反対○賛成	共産党		政和会						政志会				ネットワーク 未来(民主)		公明党		中野隆三					
	小牧一美	松葉栄太郎	菅井昌彦	田中国夫	本城政良	西村利次	広実照美	森 貴尉	石田敬治	新野富美夫	田中仁一郎	池田眞二	高田正司	藤木 猛	小西孝司	下村 勲		奥野真弓	國枝敏孝	小川泰江	渋谷成子	山崎直規
平成26年度一般会計(環境センター更新候補地周辺整備研究費)補正予算	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度守山市一般会計決算の認定	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
守山市いじめ防止対策推進条例	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
守山市特定教育・保育施設および特定地域保育事業の運営に関する基準を定	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
守山市家庭的保育事業等の設備、運営に関する基準を定める条例案	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
守山市放課後児童クラブの整備する事業等の設備および運営に関する基準を	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
守山市子どものための教育・保育給付に係る支給認定等に関する条例案	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「手話言語法」制定を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産後ケア体制の支援強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「危険ドラッグ」の根絶にむけた総合的対策強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米価下落の緊急対策を求める意見書	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
新たな農業・農村政策による農家の不安解消を求める意見書	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
有料道路のあり方についての意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
現環境センター敷地を建設候補地とすることに関する決議	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長

退席

9月議会終わる

主な議案・意見書に対する各会派の態度

9月定例会議は8月29日から9月25日まで開かれ、平成25年度一般・特別会計の決算認定、また子ども子育て新制度に関する新規条例など23件、請願・意見書など6件の議案が採決されました。このうち、日本共産党小牧議員は25年度決算他4本案件について、松葉議員は「子ども子育て新規条例」など5議案について、問題点を指摘し反対討論を行いました。詳細は、議会ホームページから議事録を検索してください。録画中継もご覧いただけます。

環境センター 建設候補地問題

地元の納得と合意が最も大事なのに…

議会が市を後押し「決議」

新環境センターの建設をめぐっては市長の拙速なやり方が問題になっており、建設予定地についても現センター用地とすることを突然表明したことから地元でも困惑の声が出ています。何よりも大事なことは、全体像を示し、地元の納得と合意が大前提です。市の強引なやり方に本来ならば議会が問題点を指摘し、地元との接点を図らなければならないのに、9月議会最終日に突然、「現環境センター敷地を更新候補地とする」決議を提出し、ゴリ押ししました。これで市政のチェンク役といえるでしょうか。

反対2、棄権2 やり方も内容も強引

新環境センターについて、7月の臨時議会でも市長は「現環境センター敷地を、更新候補地とすることを決定した」と表明しました。これに対して周辺住民の皆さんから、さまざまな意見が出されています。この間開かれてきた特別委員会や9月議会一般質問にも、多数の住民が傍聴に来られ、推移を見守って来られました。

日本共産党は、8月に地元4自治会を対象に、広く意見を聞く懇談会を開催し、自治会長らとも意見交換するなかで、まずは思いをしっかりと受けとめることが必要と考え、特別委員会で小牧議員が「時間をかけた議論が必要」と発言してきました。

ところが、9月議会最終日、議案採決が終了した後、急きよ特別委員会が開かれ、「議会としての態度を決める」ことが必要

だとして、「決議」が提案されました。小牧議員は、「性急すぎる。もっと議論を尽くすべき」と、決議をあげることそのものに反対しましたが、賛同議員全員の署名のもとに、決議案を提案することを決定。16人の連名(議長、副議長以外に4人の記名なし)による決議文が本会議に提案されました。

本来、議員提案の決議は守山市議会の総意、つまり全議員が合意することが大原則。このようなやり方こそが、地元住民の思いを無視することであり、事態をかえってこじらせます。何よりも大事なことは、納得と合意。住民の思いを押さえつけ、行政と議会丸抱えのやり方は反発を招くだけ。将来に禍根を残すことになるので、小牧議員が反対討論しました。

「手話言語法制定を求める意見書」採決

手話言語法制定を求める意見書が全会一致で採決されました。

日本共産党
守山民報

守山市議会議員
小牧一美
TEL・FAX 582-3785
http://komaki.jcp-web.net/

守山市議会議員
松葉栄太郎
TEL 584-3077
FAX 584-3466